

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、本市総合教育計画に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、児童生徒、教職員等の快適な学校生活や各小中学校における特色ある学校づくりを支援するため、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、児童生徒の自己実現を図る基礎を培うという観点から、一人一人の「生きる力」の根幹となる「自己教育力」を育成する教育を充実させるため、次の6点に重点を置いて事業を展開した。

1. 自己教育力を育てる教職員研修

教育研究所と連携し教職員研修を充実させ、その資質・指導力が向上するよう、教育講演会や教育研究発表会の実施、希望参加研修、各校の学校課題の研究等に対する支援や指導を行った。

2. 自己教育力を育てる教育環境

教職員人事管理事務、就学援助事務及び教科書無償給与事務等を行うと同時に、新学習指導要領対応の理科教育備品整備を行い、教育環境の充実を図った。

3. 自己教育力を育てる児童生徒指導

小・中・高等学校間や人権擁護委員、地区教育相談員等の関係機関、さらには学校・家庭・地域との連携を図るため、研究会や連絡協議会をそれぞれ開催し、児童生徒指導に必要な情報交換等を行った。また、不登校児童生徒を対象にした適応指導教室や外国人児童生徒を対象にした「外国人適応指導教室」を運営し、児童生徒の適応指導と教育相談等を行った。

4. 自己教育力を育てる学習指導

栃木第四小学校、南小学校、栃木南中学校を学力向上研究校に指定し、授業の改善・充実のための研究を推進した（3年目）。さらに、障がいのある児童生徒への対応や各学校の学級担任や教科担任の学習指導補助を行う学校生活支援員32人を派遣した。

5. 自己教育力を育てるキャリア（進路）指導

小学校では校外学習等、中学校では職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ばせたりする教育を展開し、児童生徒一人一人の将来の生き方を考える力の育成を図った。

6. 自己教育力を育てる国際教育

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手15人を各学校に派遣し、外国語をとおしたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。また、東陽中学校区の5つの小中学校において、文部科学省指定の「教育研究開発事業（英語教育関係）」を実施した。

そのほか、人権教育については、教職員等を対象に学校人権教育研修会を実施するとともに、栃木第五小学校と栃木西中学校を人権教育研究学校に指定し、学校における人権教育の推進を図った（2年目）。また、教育研究所においては、所長の

宇都宮大学松本敏教授を中心に教育課題等の調査研究や教職員の資質向上のための研修機能を充実させ、「同僚性」を根幹に据えた本市教育のシンクタンク的な機能を発揮できるよう、組織の再編を進めた。

学校保健については、心身共に健康な児童・生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診および「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健康診断、就学時健診、教職員の生活習慣病検診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水、プールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指し、年間約190回実施した。栃木地域内小・中学校22校すべてを親子方式（小型共同調理場）により運営し、よりきめの細かい学校給食の実施に向けて、内容の充実に取り組んだ。

食事内容については、献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

事業名	実施期日	実施状況
教職員の人事事務 (県費負担職員)	随時	<p>年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。</p> <p>完退者 19人 転退者 47人 転勤者 90人 新採者 19人 転採者 38人 傷休者 8人 産休者 5人 育休者 18人 休職者 5人</p>

教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)	23年 2月 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会 ・人事異動に伴う事務 ・学校事故に関する事務 ・受験届に関する事務 ・校長選考試験に関する事務 ・教頭, 主幹教諭選考試験に関する事務 ・教員評価に関する事務 ・栄養教諭選考試験に関する事務 ・表彰に関する事務 ・公務災害に関する事務 																								
教職員給与内申発令関係事務	22年4月 随時	教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。																								
教職員団体に関する事務	随時	地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体(栃教協)との研修事業、各種研修等に係る補助金、委託料に関する事務																								
児童生徒の就学に関する事務	随時	(1) 小中学校児童生徒就学状況																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">小 学 校</th> <th colspan="2">中 学 校</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年5月1日</td> <td>4,393</td> <td>172</td> <td>2,198</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>22年5月1日</td> <td>7,665</td> <td>294</td> <td>3,714</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>+3,272</td> <td>+122</td> <td>+1,516</td> <td>+61</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	小 学 校		中 学 校		児童数	学級数	生徒数	学級数	21年5月1日	4,393	172	2,198	81	22年5月1日	7,665	294	3,714	142	比較	+3,272	+122	+1,516	+61
		区 分		小 学 校		中 学 校																				
			児童数	学級数	生徒数	学級数																				
		21年5月1日	4,393	172	2,198	81																				
22年5月1日	7,665	294	3,714	142																						
比較	+3,272	+122	+1,516	+61																						
要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	22年 7月 12月 23年 3月 随時	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>実施状況</p> <table> <tr> <td>小学校</td> <td>175人</td> <td>9,550,117円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>137人</td> <td>12,863,445円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>312人</td> <td>22,413,562円</td> </tr> </table>	小学校	175人	9,550,117円	中学校	137人	12,863,445円	計	312人	22,413,562円															
小学校	175人	9,550,117円																								
中学校	137人	12,863,445円																								
計	312人	22,413,562円																								
特別支援教育就学奨励費補助事業	22年 7月 12月 23年 3月 随時	<p>市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。</p> <p>実施状況</p> <table> <tr> <td>小学校</td> <td>39人</td> <td>1,470,292円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18人</td> <td>945,280円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57人</td> <td>2,415,572円</td> </tr> </table>	小学校	39人	1,470,292円	中学校	18人	945,280円	計	57人	2,415,572円															
小学校	39人	1,470,292円																								
中学校	18人	945,280円																								
計	57人	2,415,572円																								

遠距離通学児童生徒援助事業	22年11月	遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況 小学校 4 km以上 中学校 6 km以上			
		学校名	人員(人)	金額(円)	備考
		皆川城東小	6	129,000	
		寺尾中央小	7	75,600	
		計	13	204,600	
学校教育設備整備費等(理科教育等設備整備費)補助事業	22年12月	学校教育設備整備費等補助金により、小学校6校、中学校4校の整備を行った。 本年度小学校整備額 544,227円 " 中学校整備額 241,710円 計 785,937円			
	23年 1月				
臨海自然教室実施事業	22年10月 11月	とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。			
		実施学校名	参加数	実施期間	経 費
		栃木中央小	99人	11/ 8～11/10	352,146円
		栃木第三小	83	10/25～10/27	352,146
		栃木第四小	41	10/27～10/29	117,382
		栃木第五小	122	11/10～11/12	352,146
		南 小	62	11/ 8～11/10	234,764
		大宮北小	139	10/27～10/29	469,528
		皆川城東小	32	11/ 8～11/10	117,382
		吹上小	77	10/27～10/29	234,764
		千塚小	35	11/ 8～11/10	117,382
		寺尾中央小	29	10/27～10/29	117,382
		寺尾南小	17	10/27～10/29	117,382
		国府南小	20	11/ 8～11/10	117,382
		国府北小	47	11/ 8～11/10	234,764
計	803	—	2,934,550		

2 指導に関する事業

事業名	実施期日	実施状況
学校訪問 指導	随 時	<p>学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育に関して指導した。</p> <p>共同訪問 皆川城東小、大宮北小、大平東小、大平南小、 栃木西中、寺尾中</p> <p>研究学校 栃木中央小、栃木西中、栃木五小、南小、 栃木四小、大宮南小、大宮北小、国府南小、 国府北小、皆川城東小、寺尾中央小、寺尾南小 大平東小、大平南小、大平西小、大平中央小、 部屋小、家中小、栃木南中、東陽中、皆川中、 寺尾中、大平中、大平南中、藤岡第一中</p> <p>その他学校課題等に関する訪問</p> <p>学校課題 【別表1】 平成22年度 学校課題・研究主題一覧表参照 実施状況 【別表2】 平成22年度学校訪問実施状況参照</p>
教育研究 発表会	23年 1月25 日	<p>教職員を対象に、日頃の教育実践研究の成果を発表し、資質の向上を図り、指導法の改善に努めた。</p> <p>口頭発表者 6件(小学校3校、中学校1校、高等学校1校 栃木市教育研究所1件)</p> <p>紙上発表者 12人(小学校4校、中学校2校、栃木市教育 研究所6人)</p> <p>参加者 市内小・中・高等学校の教員 97人</p>
人権教育 研修	22年 8月 2 日 22年 8月10 日	<p>第1回栃木市人権教育研修会 講話「同和問題における現状と課題について」 講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞様 (各小・中学校1人)</p> <p>第2回栃木市人権教育研修会 講話「各教科等における直接的指導のタイプの授業の実際 について」 班別研修「授業づくりをとおした研修」 (各小・中学校1人)</p>
外国語指 導助手学 校派遣	22年 4月 ～23年 3月	<p>外国語指導助手15名を学校へ派遣した。小中の学校種ごとに 訪問計画を立て、市内全小中学校への訪問を行った。</p> <p>15人の訪問延べ日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 合計 1,077日 ・小学校 合計 1,695日 小中学校 合計 2,772日 <p>※ 長期休業を除く月～金のほぼ毎日訪問した。</p>

特別支援教育関係事業	随時	<p>特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法を習得するため、研修会等を開催した。</p> <p>特別支援教育研修会 2回 学校生活支援員研修会 3回 ゆっくり学習会 4回 特別支援教育新任担当教員研修 特別支援学級教室訪問支援 臨床心理士等による巡回訪問支援 等</p>																											
教科書無償給与事務	22年4月、10月 随時	<p>小中学校児童・生徒教科書給与事務</p> <table border="0"> <tr> <td>・小学校</td> <td>前期用</td> <td>28,536冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前期転学用</td> <td>87冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期用</td> <td>15,404冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期転学用</td> <td>32冊</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>前期用</td> <td>20,372冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前期転学用</td> <td>70冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期用</td> <td>0冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期転学用</td> <td>35冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td>64,536冊</td> </tr> </table>	・小学校	前期用	28,536冊		前期転学用	87冊		後期用	15,404冊		後期転学用	32冊	・中学校	前期用	20,372冊		前期転学用	70冊		後期用	0冊		後期転学用	35冊		合 計	64,536冊
・小学校	前期用	28,536冊																											
	前期転学用	87冊																											
	後期用	15,404冊																											
	後期転学用	32冊																											
・中学校	前期用	20,372冊																											
	前期転学用	70冊																											
	後期用	0冊																											
	後期転学用	35冊																											
	合 計	64,536冊																											
教師用教科書及び指導書購入貸与事務	22年4月、 23年3月、 随時	<p>小中学校の教師用教科書及び指導書の購入事務</p> <table border="0"> <tr> <td>・小学校</td> <td>教師用教科書</td> <td>前後期用</td> <td>1,156冊</td> <td>421,875円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>”</td> <td>指導書</td> <td>”</td> <td>1,339冊 13,964,890円</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>教師用教科書</td> <td>前後期用</td> <td>171冊</td> <td>94,047円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>”</td> <td>指導書</td> <td>”</td> <td>185冊 2,418,570円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>2,851冊</td> <td>16,899,382円</td> </tr> </table>	・小学校	教師用教科書	前後期用	1,156冊	421,875円		”	指導書	”	1,339冊 13,964,890円	・中学校	教師用教科書	前後期用	171冊	94,047円		”	指導書	”	185冊 2,418,570円			合 計	2,851冊	16,899,382円		
・小学校	教師用教科書	前後期用	1,156冊	421,875円																									
	”	指導書	”	1,339冊 13,964,890円																									
・中学校	教師用教科書	前後期用	171冊	94,047円																									
	”	指導書	”	185冊 2,418,570円																									
		合 計	2,851冊	16,899,382円																									
立志式	23年1月～ 2月	<p>14歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人一人に自立への自覚を促し、理想に向かって確かな歩みをさせる契機とするものとして、「立志式」を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>実施日</th> <th>該当者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栃木東中</td> <td>1/30</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>栃木西中</td> <td>2/4</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>栃木南中</td> <td>1/26</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>東陽中</td> <td>1/26</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>皆川中</td> <td>2/4</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>吹上中</td> <td>2/2</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>寺尾中</td> <td>2/4</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>大平中</td> <td>2/5</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	実施日	該当者数	栃木東中	1/30	100	栃木西中	2/4	170	栃木南中	1/26	120	東陽中	1/26	163	皆川中	2/4	47	吹上中	2/2	84	寺尾中	2/4	30	大平中	2/5	116
学 校 名	実施日	該当者数																											
栃木東中	1/30	100																											
栃木西中	2/4	170																											
栃木南中	1/26	120																											
東陽中	1/26	163																											
皆川中	2/4	47																											
吹上中	2/2	84																											
寺尾中	2/4	30																											
大平中	2/5	116																											

		大平南中	2/3	163
		藤岡第一中	1/28	130
		藤岡第二中	2/2	25
		都賀中	2/13	111
		計		1,259
幼・保・小 連絡協議 会	22年6月～ 随 時 22年10月～ 23年2月	幼保小教職員相互職場体験研修 延べ30件 小学校での授業参観と授業研究会 2回 保育園での保育参観と意見交換 2回		
地域ぐる み児童生 徒指導	22年6月～ 23年2月 22年4月～ 3年3月 毎月1回 年2回 年1回	7中学校区児童生徒指導連絡協議会 (各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動の展開) 栃木市児童生徒指導研究会 (異校種間の情報交換やスクールガードリーダー・人権擁護 委員並びに保護司との合同研究会を開催) 中学校部会 小・中 部会 (5/27、12/7) 小・中・高 部会 (12/7)		
適応指導 教室運営 に関する 事務	22年4月～ 23年3月	学校教育指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒 に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への 適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を 行った。 ・適応指導教室通級人数 32人 (学校復帰人数29人) ・来所相談 693件 ・学校訪問 135件 ・電話相談1604件 ・家庭訪問 489件 計2921件		

【別表1】 平成22年度 学校課題・研究主題一覧表

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	掛札往子	「かかわり合いの中で、自ら学ぶ子供の育成」 ～かかわり合い学び合う授業の工夫～	全教科 全領域	
栃木第三小	生澤通孝	子どもの心に響く学習指導のあり方 ～表現力を豊かにする指導法の工夫を通して～	全教科 全領域	
栃木第四小	関口睦	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 ～国語科を中心に～	国語科	市指定学力向上研究学校
栃木第五小	金子一男	互いに認め合い、生き生きと伝え合う児童の育成 ～豊かな人間関係を築く表現力の育成をとおして～	道徳 学活 社会	市指定人権教育研究学校
南小	江連昌子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 ～豊かな表現力の育成をめざして～	国語科	市指定学力向上研究学校
大宮南小	石川幸子	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動（英語）	文科省指定教育研究開発事業
大宮北小	星野全代	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動（英語）	文科省指定教育研究開発事業
皆川城東小	高木紀之	「豊かな人間性を培い、的確なコミュニケーション能力を身に 付け、社会に貢献できる児童生徒の育成」 ～言語力育成に向けての各教科からのアプローチ～	全教科及び総合的な学習の 時間（ことのは、生き方） 外国語活動	市指定小中一貫教育研究学校
吹上小	清水文枝	算数の楽しさを実感できる授業をめざして ～「思考力」や「表現力」をはぐむ算数的活動を通して～	算数科	
千塚小	平宇清子	言葉の力を高め、思いを伝え合える児童の育成 ～国語科を中心に～	国語科	下小教研道徳授業校

寺尾中央小	佐山良江	言語活動を重視した授業展開の工夫 ～各教科等における実践～	各教科等	市指定G D V教育実践校
寺尾南小	藤野利江	自分の思いや考えを生き生きと伝え合えることができる子どもの育成 ～国語の「書くこと」の指導を中心に～	国語科	市指定G D V教育実践校
国府南小	橋本圭子	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動（英語）	文科省指定教育研究開発事業
国府北小	上田好重	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動（英語）	文科省指定教育研究開発事業 セカンドステップ研究学校
大平東小	大川臣子	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする子どもの育成	国語，算数を中心に	市指定人権教育研究学校
大平南小	田上茂喜	自分の考えを伝え合う子どもの育成	算数	
大平西小	海老沼修	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語能力の活用を図って～	全教科領域 (国語科を中心として)	
大平中央小	堀千尋	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～国語科・算数科での言語活動を通して～	国語科 算数科	
部屋小	杉森貴子	確かな学力を身につけさせる指導の工夫 ～生活科・総合的な学習の時間を中心に～	生活科総合的な学習の時間	
藤岡小	志田節子	「生き生きと伝え合う力の育成」 ～豊かな言語活動を通して「書く」力をつける指導方法の工夫～	国語	
赤麻小	青木恭子	楽しい英語活動をとおした伝え合う力の育成	学級活動（1,2年生） 総合的な学習の時間（3,4年生） 外国語活動（5,6年生）	
三鴨小	篠原幸江	主体的に学習に取り組む子の育成 ～算数科における指導法の工夫・改善を通して～	算数科	
合戦場小	琴寄とも子	自分の思いや考えを豊かな言葉で伝え合う子どもの育成 ～話す・聞くを中心として～	国語・算数等	

家中小	服部紀子	自分の生活を見つめ、生き生きと活動できる子どもの育成 ～歯・口の健康づくりをとおして～	学級活動 保健体育	生活習慣病予防等 (11/25(木)公開研究発表会)
赤津小	相田美由紀	算数好きな子どもを育てる算数科学習 ～算数的活動の充実を通して～	算 数	
栃木東中	湯本康弘	学ぶ喜びを感じて、学び合いを生かす生徒の育成 ～学び合う力の向上を図る指導の具現化～	全教科 道 徳 学級活動 特別支援	
栃木西中	篠原義雄	自他の人権・生命を尊重し、共に学び共に伸びる生徒の育成	全教科 全領域	市指定人権教育研究学校
栃木南中	江田訓子	学ぶ意欲を高める指導法の工夫 ～生徒も教師も満足感のある授業を目指して～	全教科	市指定学力向上研究学校
東陽中	鈴木龍一	相手意識を持って自分の思いを表現できるコミュニケーション 力を身に付けた生徒の育成 ～生徒の関心・意欲に基づく言語活動の在り方を求めて～	全教科 全領域	文科省指定教育研究開発事業
皆川中	砂川博史	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、 小中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続 第6年次） ～言語力育成に向けての各教科からのアプローチ～	全教科及び総合的な学習の時間 (生き方系列・ことのは系列)	市指定小中一貫教育研究学校
吹上中	井寺 聡	学び方を身に付け、進んで学習する生徒を育てる学習指導の工夫 ～新学習指導要領の趣旨を踏まえて～	全教科	
寺尾中	設楽孝男	基礎学力の定着と向上を目指した指導法の工夫	全教科(美術を除く)	市指定GDV教育実践校
大平中	小島照江	基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導法の工夫 ～学習の約束の徹底と意欲的に取り組ませるための工夫～	全教科	
大平南中	藤間亮子	表現力を高める指導法の工夫 ～自分の考えや思いを伝えることができる生徒をめざして～	全教科	

藤岡第一中	羽鳥広康	確かな学力を育むための指導法の工夫 ～生徒が生き生きと学び合う授業づくりをめざして～	全教科	文科省指定 学力向上実践研究事業
藤岡第二中	川村道子	「基礎・基本の定着を図るための指導法の工夫 ～言語活動を通して～」	全教科（美、技・家を除く）	
都賀中	有澤弘登	「共に高め合い、主体的に学習に取り組む生徒の育成」 ～基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる指導及び評価の工夫～	全教科	

※ 表記については、各学校から報告された文言で示してある。

【別表2】平成22年度学校訪問実施状況

No	学校名	各教科等	決定		備考
1	栃木中央小	道徳・国語・理科	6月23日	水	研究校訪問
2	〃	生活・社会・理科・生活単元	11月2日	火	研究校訪問
3	栃木三小	国語	6月28日	月	
4	〃	国語	11月19日	金	
5	〃	国語	11月19日	金	3年目研修
6	栃木四小	国語	6月30日	水	研究校訪問
7	〃	国語	11月10日	水	研究校訪問
8	栃木五小	社会・道徳	11月5日	金	研究校訪問
9	〃	学活・道徳	1月27日	木	研究校訪問
10	南小	国語	6月15日	火	研究校訪問
11	〃	国語	11月22日	月	研究校訪問
12	大宮南小	外国語活動	6月24日	木	研究校訪問
13	〃	外国語活動	1月27日	木	研究校訪問
14	大宮北小	外国語活動	6月18日	金	3年目研修
15	皆城小・皆中	合同研修会	6月2日	水	研究校訪問
16	〃	合同研修会	10月6日	水	研究校訪問
17	吹上小	特別支援(訪)	5月14日	金	
18	〃	算数	6月7日	月	
19	〃	算数	6月23日	水	
20	〃	栃小教研算数	8月10日	火	
21	〃	栃小教研算数	8月25日	水	
22	〃	栃小教研算数	11月2日	火	
23	千塚小	国語	6月14日	月	3年目研修
24	〃	国語	1月31日	月	
25	寺尾中央小	国語	6月29日	火	
26	〃	国語	11月10日	水	
27	〃	国語	11月25日	木	3年目研修
28	寺尾南小	国語	6月30日	水	
29	〃	国語	9月29日	水	
30	国府南小	外国語活動	6月4日	金	研究校訪問
31	〃	外国語活動	11月12日	金	研究校訪問
32	国府北小	外国語活動	6月29日	火	研究校訪問
33	〃	特別支援(訪)	10月7日	木	研究校訪問
34	大平東小	国語・算数	10月20日	水	
35	〃	算数	10月20日	水	3年目研修
36	大平南小	学校課題	5月27日	木	

37	大平南小	道徳	6月30日	水	
38	〃	算数	6月30日	水	3年目研修
39	大平西小	算数(2授業)	9月14日	火	
40	〃	学活	12月3日	金	
41	〃	道徳	10月8日	金	3年目研修
42	〃	国語	11月15日	月	
43	大平中央小	算数	11月17日	水	3年目研修
44	〃	国語	11月17日	水	
45	藤岡小	国語	6月16日	水	
46	〃	体育	10月6日	水	3年目研修
47	〃	国語	11月24日	水	
48	部屋小	道徳	7月6日	火	
49	〃	理科	11月10日	水	3年目研修
50	〃	総合	10月27日	水	
51	赤麻小	外国語活動	10月21日	木	
52	〃	外国語活動	7月1日	木	
53	三鴨小	特別支援(新)	6月17日	木	
54	〃	算数	10月28日	木	
55	合戦場小	国語	6月10日	木	3年目研修
56	〃	学活・社会	6月30日	水	
57	〃	道徳	11月24日	水	
58	家中小	学活	6月14日	月	
59	〃	研究校訪問	8月24日	火	研究校訪問
60	〃	研究校訪問	11月9日	火	研究校訪問
61	〃	公開研究発表	11月25日	木	研究校訪問
62	赤津小	算数	6月11日	金	
63	〃	算数	12月1日	水	
64	栃木東中	理科	9月15日	水	3年目研修
65	〃	国語	9月28日	火	
66	〃	英語	10月13日	水	
67	〃	特別支援(訪)	10月14日	木	
68	〃	保健体育	12月9日	木	
69	栃木西中	英語	6月18日	木	3年目研修
70	〃	数学	9月29日	水	研究校訪問
71	〃	道徳・社会	11月24日	水	研究校訪問
72	〃	人権教育	12月15日	水	研究校訪問
73	〃	道徳・学活	1月26日	水	研究校訪問
74	栃木南中	英語	7月12日	月	3年目研修

75	栃木南中	英語	10月14日	木	研究校訪問
76	東陽中	特別支援(訪)	7月5日	月	
77	〃	理科	7月13日	火	3年目研修
78	〃	学活	10月14日	木	
79	〃	道徳	2月3日	木	
80	皆川中	特別支援(新)	5月26日	水	
81	皆城小・皆中	合同研修会	6月2日	水	研究校訪問
82	〃	合同研修会	10月6日	水	研究校訪問
83	吹上中	英語	9月28日	火	
84	〃	道徳	11月10日	水	
85	〃	数学	11月18日	木	
86	〃	社会	12月6日	月	
87	寺尾中	音楽	1月26日	水	
88	大平中	数学	9月16日	木	
89	〃	保健体育	9月28日	火	3年目研修
90	〃	道徳	9月28日	火	
91	〃	理科	12月21日	火	
92	大平南中	数学	6月1日	火	3年目研修
93	〃	家庭	7月8日	木	
94	〃	音楽	7月7日	水	
95	藤岡一中	公開授業	5月11日	火	研究校訪問
96	〃	公開授業	6月15日	火	〃
97	〃	公開授業	7月6日	火	〃
98	〃	公開授業	9月7日	火	〃
99	〃	公開授業	10月6日	水	〃
100	〃	研究発表会	11月12日	金	〃
101	〃	公開授業	12月14日	火	〃
102	〃	公開授業	1月25日	火	〃
103	〃	公開授業	2月15日	火	〃
104	藤岡二中	特別支援(新)	6月23日	水	
105	〃	音楽	6月25日	金	
106	〃	保健体育	10月18日	月	
107	都賀中	数学・国語	5月28日	金	
108	〃	理科	9月27日	月	
109	〃	社会・英語	11月18日	木	
110	〃	道徳	11月29日	月	

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断（学校保健法施行規則に基づき4月～6月実施）

ア 小中学校 (単位：人)

区分	健診対象者	健診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	4,380	4,380	4	4	0
中学校	2,348	2,340	2	2	0
合計	6,728	6,720	6	6	0

(注) 中学校には国学院中学も含む。

イ 教職員(全教職員 胸部レントゲン間接撮影) (単位：人)

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	361	354	7	妊娠中・妊娠疑い 4	0
中学校	204	203	1	傷病休暇（育休・休職含む）4	
計	565	557	8	計 8	0

(2) 小中学校腎臓検診（4月～7月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者 (単位：人)

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小学校	4,379	4,378	105	41	38	55	93
中学校	2,150	2,131	110	28	29	34	63
合計	6,529	6,509	215	69	67	89	156

(三次検査 要精検率 2.4%)

(3) 学校心臓検診（検診5月～6月）

()は有所見率 単位：人

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診省略者数	精密検査
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数		精検受診者数
小学校一年生	685	685	66 (9.6%)	37	31 (4.5%)	28	31 (4.5%)
中学校一年生	689	686	81 (11.8%)	58	33 (4.8%)	23	33 (4.8%)
合計	1,374	1,371	147 (10.7%)	95	64 (4.7%)	51	64 (4.7%)

(単位：人 () は有所見率)

区分	在籍者数	一次検診		精密検査
		受診者数	一次有所見者	精検受診者数
小学校四年生	706	705	47 (6.7%)	25 (3.5%)

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施日 平成22年6月21日～7月9日までの11日間
- ・実施校 市内小学校(栃木地域)14校
- ・参加者 児童 686人 1年生全員 保護者 多数参加(自由参加)
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断(生活習慣病検診)

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員(県職)

() 内は胃部X線検査受診者再掲

	受診者数 (人)	要精検者数(人)	要精検率 (%)
小学校	143 (37)	29 (0)	20.3 (0)
中学校	85 (23)	19 (1)	22.4 (4.3)
合計	228 (60)	48 (1)	21.1 (1.7)

(注) 血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～11月
- ・対象 H16.4.2～H17.4.1生
- ・被検査者数 629人(男子 319人 女子 310人)

(単位：人)

項目		性別		合計
		男子	女子	
栄養状態	栄養不良	0	0	0
	肥満傾向	1	1	2
脊椎異常のある者		0	0	0
胸郭異常のある者		0	1	1
視力0.7未満		48	49	97
眼疾患	結膜炎	10	3	13
	その他	7	9	16
耳鼻咽喉頭疾患	中耳炎	0	0	0
	扁桃腺肥大	3	0	3
その他		1	1	2

皮膚疾患	伝染性	0	0	0
	その他	6	3	9
歯	むし歯なし	164	178	342
	〃 処置者	59	46	105
	〃 未処置者	92	90	182
その他歯疾病		1	4	5
口腔疾病及び異常		0	0	0
その他疾病及び異常	ぜんそく	30	21	51
	アレルギー	18	13	31
	心臓疾患	8	3	11
	腎臓疾患	2	1	3
	川崎病既往	6	2	8
	てんかん	1	1	2
	その他	19	13	32

(7) 出席停止（伝染病及び感染症による欠席児童生徒）

（単位：人）

月 学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	10	7	8	19	2	4	10	19	318	323	165	885
中学校	2	0	0	1	0	1	1	2	62	34	15	118
合計	12	7	8	20	2	5	11	21	380	357	180	1,003

（注）8月は夏休み

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	559	35	26	147,264
栃木第三小	480	32	28	154,448
栃木第四小	201	11	5	41,804
栃木第五小	607	27	19	144,900
南小	349	18	14	98,724
大宮南小	67	3	3	14,616
大宮北小	861	51	30	197,781
皆川城東小	197	8	7	52,344
吹上小	365	39	24	276,257
千塚小	194	21	15	86,240
寺尾中央小	108	6	5	30,684

寺尾南小	39	2	2	6,692
国府南小	57	9	7	48,880
国府北小	297	26	14	95,560
計	4,381	288	199	1,396,194
栃木東中	314	27	20	271,303
栃木西中	509	86	54	929,787
栃木南中	314	47	30	215,207
東陽中	543	67	41	335,370
皆川中	137	33	21	137,754
吹上中	262	56	35	491,050
寺尾中	72	12	9	49,596
計	2,151	328	210	2,430,067
合計	6,532	616	409	3,826,261

2 学校環境衛生管理

区 分	検査日	検査項目	備 考
飲料水 水質検査	5月11日	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月17日	理化学・細菌・重金属等検査51項目	地下水 (地下水使用校5校)
プール水水質検査 プール施設調査	6月16日	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	7月13日	水質6項目、施設安全管理調査	〃
照度検査	10月~12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月~2月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校の飲料水水質検査は毎月1回実施

3 学校給食実施状況

(1) 平成22年度学校給食栄養摂取状況

区 分	エネルギー	蛋白質	脂 肪	カルシウム	鉄	ビタミン			
	kcal	g	g	mg	mg	A μg	B1mg	B2mg	C mg
小学校平均摂取栄養量	665	26.2	22.3	346	2.9	322	0.65	0.62	33
中学校平均摂取栄養量	820	31.4	25.8	379	3.6	372	0.83	0.70	39

※ 小学校14校、中学校7校の平均摂取栄養量

小学校はほぼ基準どおりであるが、中学校のカルシウム・鉄の摂取量に若干不足が見られるので、今後これらの点を十分考慮して献立を作成し、基準量の摂取に努めたい。

(2) 学校給食実施人員及び施設状況（平成22年5月1日現在（ ）は臨時調理員の内数）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	栃木中央小学校 給食共同調理場	栃木中央小	559	20	1	4	鉄筋コンク リート造	217
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	480	16	1	委託	〃	195
		栃木東中	314	13				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	201	7	1	4 (1)	〃	331
		栃木南中	314	11				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	607	21	1	委託	〃	349
		栃木西中	509	18				
5	南小学校 給食共同調理場	南小	349	12	1	委託	鉄骨造	145
		大宮南小	67	5				
6	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	861	26	1	委託	〃	175
		国府南小	57	6				
7	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	365	13	1	委託	〃	155
		吹上中	262	10				
8	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	194	8	1 栄養教諭	5 (1)	鉄筋コンク リート造	310
		皆川城東小	197	7				
		皆川中	137	7				
9	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	108	6	1	3 (1)	〃	252
		寺尾南小	39	4				
		寺尾中	72	3				
10	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	297	13	1	委託	〃	194
		東陽中	543	19				
計	10調理場	21校	6,532	245	10	16(3)		

(3) 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	599	67	39,912	74	42,427	48	28,765	189	111,104
栃木第三小	524	66	34,054	74	38,026	48	24,717	188	96,797
栃木第四小	225	67	14,968	74	16,314	48	10,757	189	42,039
栃木第五小	653	67	43,187	73	46,639	48	31,036	188	120,862
南小	379	66	24,720	74	27,424	48	17,904	188	70,048

大宮南小	80	66	5,247	73	5,826	48	3,827	187	14,900
大宮北小	917	66	59,368	75	67,324	48	43,654	189	170,346
皆川城東小	213	67	14,105	74	15,362	48	10,326	189	39,793
吹上小	396	67	26,386	73	28,315	48	18,811	188	73,512
千塚小	218	65	14,067	74	15,916	48	10,452	187	40,435
寺尾中央小	127	66	8,384	75	9,234	48	6,161	189	23,779
寺尾南小	52	66	3,405	74	3,720	48	2,436	188	9,561
国府南小	72	67	4,862	74	5,304	48	3,482	189	13,648
国府北小	330	67	21,881	75	24,017	49	15,732	191	61,630
栃木東中	342	63	21,417	73	24,581	48	15,064	184	61,062
栃木西中	537	65	33,733	72	38,037	48	24,251	185	96,021
栃木南中	337	65	21,613	73	24,577	48	15,259	186	61,449
東陽中	577	64	36,647	72	41,066	48	24,382	184	102,095
皆川中	155	65	9,873	73	11,248	48	6,946	186	28,067
吹上中	286	63	18,025	73	21,045	48	12,953	184	52,023
寺尾中	88	63	5,492	73	6,396	48	4,071	184	15,959
合計	7,107		461,346		512,798		330,986		1,305,130

4 学校給食用標準献立の作成事業

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者
1	平成22年 4月30日(金)	標準献立作成(7月分)	農業委員室	栄養職員他 13人
2	5月21日(金)	標準献立作成(9月分)	〃	栄養職員他 11人
3	6月18日(木)	標準献立作成(10月分)	〃	栄養職員他 13人
4	7月 9日(金)	標準献立作成(11月分)	〃	栄養職員他 10人
5	8月 3日(火)	標準献立作成(12・1月分)	〃	栄養職員他 12人
6	9月28日(金)	標準献立作成(2月分)	〃	栄養職員他 9人
7	10月 8日(金)	標準献立作成(3月分)	〃	栄養職員他 11人
8	11月19日(金)	標準献立作成(4月分)	〃	栄養職員他 13人
9	12月14日(金)	標準献立作成(5月分)	〃	栄養職員他 12人
10	平成23年 2月10日(木)	標準献立作成(6月分)	〃	栄養職員他 13人

5 共同調理場運営協議会の開催

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者
1	平成22年 7月23日(金)	共同調理場運営協議会	国府公民館	委員他 25人
2	9月 9日(木)	〃	〃	委員他 27人

3	平成23年 1月27日(木)	〃	〃	委員他 24人
---	----------------	---	---	---------

6 学校給食関係職員研修事業

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者
1	平成22年4月22日(木)	栃木地区給食主任・栄養教諭等会議	国府公民館	給食主任他 21人
2	7月21日(水)	学校給食調理員研修会(現場学習他)	西那須野学校 給食センター他	調理員他 29人
	22日(木)	〃 (衛生講話・調理実習)		〃 25人
3	7月26日(月)	給食主任・栄養教諭等研修会	寺尾公民館	給食主任・栄養教諭等他 47人
4	平成23年1月20日(木)	栃木地区給食主任・栄養教諭等会議	国府公民館	給食主任・栄養教諭等他 34人
5	3月25日(金)	栃木地区調理員研修会(衛生講話)	〃	調理員他 17人